# 令和4年度シラバス　歯科衛生士科

神戸総合医療専門学校

| 科目名 | 授業形態 | 担当教員名 | |
|---|---|---|---|
| 倫理学 | 講義 | 木村　和弘 | |
| **時間数（単位数）** | **授業回数** | **年次** | **開講時期** |
| 15　時間　（　1　単位） | 8　回 | 1　年次 | 前期 |

## 授業の目的・概要

倫理問題に配慮して医療、歯科医療、研究をおこなうために、生命と医療に関わる倫理の重要性を理解できるようにします。保健医療福祉の現場における倫理的問題、主に生命倫理（健康と病気、医療問題）について学びます。
事例を通して、具体的な問題（脳死・臓器移植・安楽死・意思決定支援等）について考えます。自分で考え、考えを述べることを大切にします。また、他者の意見を尊重し、様々な考えがあることを認め、共に考え、医療者としてあるべき姿を考えます。

## 授業の到達目標

1．生命の尊厳を説明できる。
2．臨床、研究、情報に関わる倫理的問題を説明できる。
3．生命倫理、医の倫理の歴史経過と諸問題を概説できる。
4．医の倫理に関する規範を説明できる。
5．患者の権利を説明できる。
6．延命治療と尊厳死に関わる患者の自己決定権を説明できる
7．インフォームドコンセント、セカンドオピニオン、EBMを説明できる。

## 授業計画

| 回 | 内容 |
|---|---|
| 1 | なぜ、生命倫理を学ぶのか？　～　究極の選択 「あなたなら、どうする？」 ～ |
| 2 | 職業倫理から生命理理を考える。　～「ヒポクラテスの誓い」と、「生命倫理の原則」 ～ |
| 3 | 患者に本当のことを伝えるべきか否か？　～「インフオームド・コンセン」と、「知る権利、知らないでいる権利」～ |
| 4 | 超高齢化社会の倫理的問題その①　～　高齢者の支援場面で起こる倫理的課題。認知症、意思決定支援～ |
| 5 | 超高齢化社会と倫理的問題その②　～「身体拘束廃止」と、「高齢者虐待防止」 ～ |
| 6 | 移植医療について考える。　～　脳死と臓器移植　～ |
| 7 | 出産と生殖補助医療について考える。　～　①胎児の権利　②代理出産　③一人の子どもに5人の親　～ |
| 8 | 死について考える。ターミナルケア　～　安楽死と尊厳死、延命治療、緩和ケア、患者・家族の想い、人生会議　～ |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |
| | |

## 成績の評価法と基準

| 種別 | 割合 | 評価基準・その他備考 |
|---|---|---|
| 定期試験 | 40% | 選択式問題と、論述問題を出題します。 |
| レポート | | |
| 小テスト | | |
| 平常点 | 30% | 毎回、個人ワーク、グループ討議を行います。取り組みの姿勢、学びについて評価します。 |
| その他 | 30% | 毎回、講義の最後に「今日の学び」というミニレポートを書きます。その内容による評価です。 |
| 自由記載 | | |

## 教科書

| 書名 | 著者・編集者名 | 出版社名 |
|---|---|---|
| 最新歯科衛生士教本　歯科医療倫理　第2版 | 全国歯科衛生士教育協議会 | 医歯薬出版株式会社 |
| | | |
| | | |
| | | |
| 自由記載 | テキストは補助的に使用。毎回テーマに合わせて資料を配布します。 | |

## 参考文献

| 書名 | 著者・編集者名 | 出版社名 |
|---|---|---|
| なし | | |
| | | |
| 自由記載 | | |

## 備考